

今回のテーマは...

「アリス」



聖徳博物館（図書館 8F）ではアリス展が開催中です。
今回はアリスや、作者のルイス・キャロルに関する
図書をご紹介します。

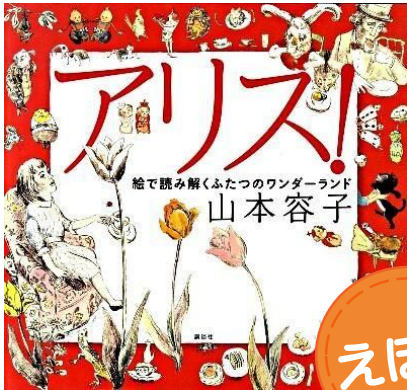


○アリス！	1p
○ルイス・キャロル	1p
○謎解きアリス物語	2p
○英語で読む不思議の国のアリス	3p
○「不思議の国のアリス」の誕生	4p
○アリス、アリス、アリス！	5p



『アリス!』

ルイス・キャロル文 山本容子絵
柳瀬尚紀訳 講談社 2010年



えほん

5F こども図書館
(「あ」のところ)

〈不思議の国〉と〈鏡の国〉
ふたつの世界を版画で再現。

独特なタッチの版画とアリス
のセリフが、読者をワンダー
ランドへ誘います。

すこし大人向けの絵本です。

『ルイス・キャロル』

ルイス・キャロル著 鴻巣友季子編
集英社 2016年

No Image...



文学

5F ポピュラーライブラリー
(外国文学「キ」のところ)

ルイス・キャロルの主な著
作が収録された文庫本。

不思議の国のアリスを子供
向けに直した「こども部屋
のアリス」も載っています。

アリス作品をまとめて読み
たい方におすすめです。



7F開架閲覧室
930.28/C22

はじめに

序章-キャロルには届かない手紙

I 『不思議の国のアリス』

4×5=12 身の上話が尾の上話に 見えん、知らん
ネコはイヌ 答えのない謎なぞ 時漢つぶし ほか

II 『鏡の国のアリス』

鏡のマジック 辞書ほどにナンセンスだって
パンニバタフライは何の名 夢の夢 ほか

終章-アリスには届かない想い

使用テキスト・参考文献

アリスの物語に様々な言葉遊びが取り入れられていることをご存じですか？

この本では、「不思議の国のアリス」「鏡の国のアリス」に仕組まれた言葉遊びや論理的なからくりを解説しています。

図書館には、「Alice's adventures in Wonderland」「Alice's Adventures in Wonderland and Through the Looking Glass」などのアリスの原書があります。

原書とあわせて読むとより楽しめる内容ですので、英文が読める方はぜひチャレンジしてみてください。

『英語で読む不思議の国のアリス』

ルイス・キャロル著 井上久美訳・解説
IBCパブリッシング 2012年



7F開架閲覧室
837.7/C22

不思議の国にようこそ！
本書の構成

Part1 Chapter1-4 (ウサギの穴に落ちて～ウサギのお使い、小さなビル)
覚えておきたい英語表現1

Part2 Chapter5-8 (イモムシが教えてくれたこと～女王陛下のクロッケー競技場)
覚えておきたい英語表現2

Part3 Chapter9-12 (海ガメもどきの話～アリスの証言)
覚えておきたい英語表現3

アリスを英語で読んでみたいけど英語に自信がない...
そんな人にはこちら。

見開きページの左側に英文、右側に日本語訳が書かれていて、見比べながら読み進めることができます。

物語に出てきた、日常会話に使える英語表現についての解説・使用例も掲載。

楽しく英語を勉強したい人にもおすすめの本書です。

※わかりやすい英語表現にリライトされているため、原作通りの文章ではない部分もあります。

No Image...



- 第1章 陸の孤島からオックスフォードへ
- 第2章 オックスフォードの生活
- 第3章 「不思議の国のアリス」の誕生
- 第4章 「鏡の国のアリス」以後
- 第5章 不思議の国は世界へ
- 資料篇

7F開架閲覧室
930.28/C22

不思議の国のアリスはどうやって生まれたのか？

作者ルイス・キャロルの生涯をたどる中で、アリスが生まれた経緯を明らかにしていきます。

巻末の資料篇にはキャロルが友人に宛てた手紙などが掲載されており、ルイス・キャロルの素顔を垣間見ることができます。

挿絵や写真が豊富で読みやすく、キャロル入門書としても最適です。

『アリス、アリス、アリス!』

ひらいたかこ著 東京創元社 2021年



7F開架閲覧室
726.5/H64

はじめに
不思議の国の住人達

「挿絵も会話もないの？」
アリス、アリス、アリス!
「たいへん、たいへん、遅れちゃう！」

兎穴
「私をお飲み」
コーカス・レース
愛を込めて
「レースは終わり！」
ドア、ドア、ドア
白兔の家

ほか

イラストレーター・ひらいたかこさんが、アリスをテーマに描いた画集です。

不思議の国を縦横無尽に冒険するアリス。常識の通用しないおかしな世界で奮闘する少女の姿がコミカルに描かれています。

チェシャ猫などおなじみのキャラクターたちもつぎつぎに登場し、見ているだけで楽しい一冊です。

不思議の国に、あなたも迷い込んでみませんか？